

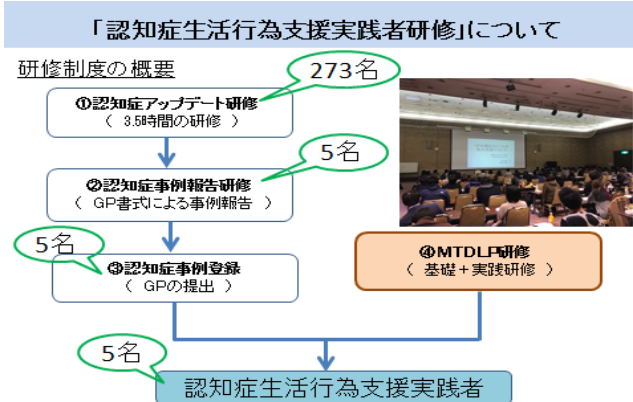
## 認知症作業療法 活動報告（概要）

（一社）岡山県作業療法士会は、平成27年度より認知症初期集中支援推進委員会を立ち上げ、平成30年度以降は認知症支援委員会として13名で活動している。事業目的は、「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」のなかで、日本作業療法士協会「認知症の人の生活支援推進委員会」と共同し、認知症に対応できる作業療法士の人材育成等を行う、であり、1. 認知症の人の生活支援推進委員会の認知症OT推進委員としての活動、2. 認知症アップデート研修の開催、3. 行政などへの広報活動、4. 認知症に関する社会資源等の情報収集および現状把握、5. その他、の活動を進めている。

## 人材育成事業

当士会は、「認知症生活行為支援実践者研修」を平成30年度より開始した。本研修制度は、①「認知症アップデート研修」、②「認知症の人を対象にした作業療法実践事例（以下、GP）報告会」、③「GP登録」、および④「MTDLP研修（基礎・実践ともに）」とし、①～④すべてを修了した会員を「認知症生活行為支援実践者」として認定する。

当士会は、「認知症生活行為支援実践者」と認定された会員を、認知症関連の研修会講師、ケア会議・介護予防等の地域派遣事業に推薦する。



令和元年11月現在、アップデート研修を5回開催し、県士会員の約22.7%273名が受講している。GP報告会は1回開催し、5名が事例報告・事例登録を行い、MTDLP研修の修了が確認された5名を認知症支援実践者として認定。

来年度から、年2回行ってきたアップデート研修を年1回に変更。GP報告会は年1回開催予定

図 認知症生活行為支援実践者研修の実績

## 広報・調査事業

当士会では、他職種（医師・看護師・薬剤師・ケアマネなど）による認知症関連団体の研修会での講演やケアカフェへの参加し関係団体と連携を深めている。また、県士会員が日々どのような形で認知症支援を実施しているのかを調査するため、アンケートを実施。



## その他事業

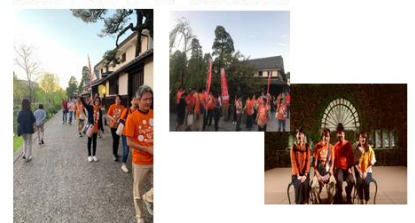
RUN伴やメモリーウォークといった地域で行われている認知症の啓蒙活動に支援委員メンバーが参加し、作業療法の啓発や情報収集活動を実施。RUN伴では相談ブースを設置

### RUN伴



### 第3回 オレンジメモリーウォークin 倉敷

・令和元年9月19日（木）倉敷美観地区



## 今後の展開

- ・「認知症生活行為支援実践者」を育成し、地域派遣事業等に派遣出来るよう事業を継続する。
- ・認知症領域で働くOTの支援状況を分析し、更なる活動へと展開していく